

# NGR みんな地球のこどもじゃん presents 北海道☆プチ保養&検査ツアー

## 「北海道☆プチ保養&検査ツアー」報告

2/23～2/28 での期間を皆様からご支援により無事、保養と検査を行なう事が出来ました。

この場をお借りして感謝の言葉とさせていただきます。



2回目の開催となった今回のツアーは前回よりも行程が一日短くなり参加者の皆さんがゆっくり北海道を楽しめるか不安でしたが、皆さんそれぞれに楽しんで頂けた様子を見て少し安心しました。

苫小牧港でお会いした時から子供たちは仲良しになっていて、どの子が兄弟なのか分からない程でした。

前回の保養&検査ツアーから3か月過ぎ、震災からは約2年が過ぎようとしています、復興するどころか忘れられようとしています。

特に原発事故に関しては非常事態宣言が続いていますが、主要メディアで取り上げられる事も少なくなっています。

この三か月の間に悲しくなるニュースが多くありました。私どもとしては一番印象に残り且つ、日本全体で考えるべきニュースとして、福島県の甲状腺検査の結果の発表がありました。

甲状腺ガンの子どもが3人、疑いのある子どもが7人。

発表は被曝による影響では無いとの事ですが、100万人に一人が発症する病気と言われるものがすでに3人に出ており、疑いが7人も居る事は事実となっています。

どう考え、どう行動するか難しい時代です。

今回、参加された皆さんも一人々々が現状と向かい合っている方々でした、私たちが忘れかけている被災地の現状を聞くことができ、色々考える事の多いツアーとなりました。

## 『北海道☆プチ保養&検査ツアー2013』日程別のご報告

2013年2月23日～2月28日

北海道札幌市にて『北海道☆プチ保養&検査ツアー2013』を開催しました。  
「みんな地球のこどもじゃん」のご協力により、NGRとして二回目の保養&検査ツアーを企画実施する事が出来ました。日程別の詳細をご覧ください。



### 2月23日(土)仙台港～

---

・仙台港に集合 乗船手続きへ

「皆さんは北海道で行きたい所のお話で盛り上がったようです。」

### 2月24日(日)

---

・午前11時に苫小牧港へ無事到着。苫小牧からバスに乗り札幌市内のホテルへ。

・ホテル内のレストランにて昼食。

・検査日程の報告 など

「子供達がフェリーに興奮したのか少々疲れた様子のバスの中心配しましたが、ホテルに到着すると、やはり子供達です！着いた途端元気に走り回っていました。」

昼食を取りながら参加者の方々とプチ交流では、福島に居るとなかなか放射能の事が話せないと思いのたけを話したり、これからどこに行こうなど北海道を楽しんでいる様子でした。

子供たち同士の方はどの子が兄弟なのか分からないくらいに仲良くなっているほどでした。



楽しい雰囲気の中で初日を迎える事ができ安心しました。」

### 2月25日(月) NGR同行

---

- ・病院にて午前中検査。
- ・交流会を行う。

「皆さんそれぞれに動物園や千歳空港などに行かれて楽しまれたようです。動物園に行かれた方は私たちが初めて札幌市の動物園に行ったとき同様、その広さに驚かれています。

夕方から交流会を行いました。

参加されたのは一家族でしたが、現在の福島県内の状況など多くの参考になるお話を聞く事ができ、貴重な時間を過ごすことができました。」

### 2月26日(火) NGR同行

---

- ・病院にて午前中検査。

「検査の方以外は自由に観光されていたようです。

北海道に来たから名物を食べたい！とスープカレー屋さんに行かれた方もいらっしゃり、とても美味しかったと喜んでいました。」



### 2月27日(水) NGR同行

---

- ・病院にて午前中検査。
- ・昼食にて交流会
- ・苫小牧港へ

「最終日になりました。

今回の参加者にはお父さんが参加されている方もいらっしゃり、

前回とは違う雰囲気もありました

が「検査をして頂いて、今の状況を知る事が大切だと感じました」また、「気を付けてはいるけれどやはり不安は感じている」など、お父さんの感じている事をお話する事ができ、とても大切な経験となりました。

昼食の際は参加者も NGR も関係なく、郷土の話や

震災当時の事、そしてやはり放射能に対する不安などの会話が盛り上がっていました。

子供たちは食べるのも早々に友達同士で遊んでいました。

お土産も購入し苫小牧港へ、最終日にいつも感じる事ですが子供達の元気な笑顔そして父母の方たちとお別れをする時がいちばん辛いです。



もっと時間があればなどと帰り道はタラればの悔し涙がでます。



震災から2年が過ぎようとしていますが、いまだ先の見えない状況に変化は無く多くの被災者が様々な問題を感じています。

私たちは原発事故による影響を考慮し子供たちの甲状腺検査を速やかに行う事を目的に活動を行っています。

どこの病院でも好きな時に見て頂き、現在の子どもの状況を知る事は今後どのような事が起こるか分からない今はとても大切な事だと感じています。

今回の保養&検査ツアーで感じた事は上にも書きましたが、お父さんの参加がありお話を伺う事はより現状を理解するうえでとても大切だと分かった事です。

普段から被災地と向き合い働いている皆さんがどう考え、悩んでいるかを知る事は難しく、今後の活動に役立てて行きたいと思えます。

NGR代表 稲守 耕司